

県内外のペタンク愛好者をつなぐ

彩の国ペタンク通信

VOL 11

発行者：埼玉県ペタンク協会

企画・編集：広報部（中村）

Tel・Fax：048-536-6939

omoikkirifatoj3@nexyzbb.ne.jp

彩の国埼玉オープンペタンク大会を開催

8月12日、第24回彩の国埼玉オープンペタンク大会が、深谷市の川本公民館前のおまつり広場で開催されました。立秋を過ぎたとはいえ、まだまだ夏本番、気温がどんどん上がって36度を超え、熱中症を心配しながらも、暑いぞ！ペタンク。天気予報では、雷を伴う雨も心配されましたが、本当に1日天気が持って、選手には雨よりは良かったのではないのでしょうか、暑い日差しをお友達に、選手には良いコンディションだったようです。

ここのテランは、だいぶ知られてきましたが、国際試合を目指す人には必須の砂利テラン。転がしを主としたポワンテをする人には、なかなか攻略しにくいテランです。だから、場所がここだと言って嫌う人もいるようですが、どんなテランでも、自分のペースとスタイルを貫けないと、なかなか優勝はこころがってきませんね。そういう点で、埼玉の皆さんは慣れてきたように感じました。春のコバトン杯も此処だし、川本オープンも此処でした。そんな中、遠くは岡山県よりお越しいただき、この大会の全国的な拡がりに驚きつつ、参加された沢山のプリストに感謝する次第です。（中村）

…しかし、毎回上位に進出するチームは、良く寄りますね。



【大会結果】熱戦を制したのは下記のチームです：



優勝： 倉敷藤花
木下あけみ
田中 宏
猪木克太



2位： チーム埼玉
高鳥宣正
塩田邦彦
宇野一郎



3位： 川本E
山田広幸
三橋 勉
吉田茂子



4位： 川本D
渡邊真由美
清水葉子
興津里子

関東ブロック選手権を制覇	2面	ペタンク夏の合宿を開催（秩父市）	2・3面
ペタンク講習会を開催（坂戸市）	3・4面	さいたま市オープン大会結果	4・5面
黒田開場記念大会結果（深谷市）	5面	加須市交流会、ジュニアが大活躍	5・6面
埼玉選手会を開催（黒田）	6面	審判部からのお知らせ	6面

第5回関東ブロック大会、埼玉県勢が活躍

8月26日(日)、第15回関東ブロックペタンク選手権大会が、処暑を過ぎたとはいえ、照りつける日差しに辟易しながら開会しました。64チームが参加して、8時55分に4チーム1ブロックのリーグ戦での予選が始まりました。試合はすべて時間制限がなく、11点先取で行なわれました。9時には30度を超え、猛暑日を思わせる暑さの中、埼玉県勢は9チームが参加し、ファニーで楽勝したり、中盤まで接戦で後半粘り勝ちしたり、最後までしのぎを削る接戦だったり、いろいろありましたが、結局、日頃の練習の成果とチームワーク、試合の戦術の良さなどで、7チームが決勝進出しました。熱戦が繰り広げられたテランは、連日の猛暑で乾ききって良く転がるテランに加え、表面がパウダー状の砂でふかふかになって、ポワンテやティールをすると土埃が舞うほどでした。従って、やや転がし気味のポワンテは途中で止まってしまったり、距離感を掴むのが難しく、上げ気味のポワンテやポルテは、ポッコンと跳ねて思わぬ方向に転がったりで、苦戦をしたチームが多かったようです。午後の決勝トーナメントもテランの状況は変わらず、選手は暑さに消耗しながらも、熱戦を繰り広げていました。神奈川ペタンク協会の皆さんは、選手の為にシートで日陰を作ってくれたり、冷茶やスポーツドリンクなどのしのぎを用意してくれたり、いろいろ工夫して頂き大変感謝する次第です。

(担当:中村)

この大会で、埼玉県から上位入賞したチームは次の皆さんです:



優勝 きじ丸&ダンディーズ
泉 忠明 中村 孝 宮城修一



3位 埼玉パイレーツ
大澤廣美 井上まち子 今泉君子



5位 埼玉くすのき
稲垣政英 山名富喜 高橋憲次

第3回 ペタンク夏の合宿交流会



県協会主催の『夏の合宿交流会』が、秩父市吉田元気村にて8月18日(土)~19日(日)の両日、64名の参加者を得て開催されました。河部会長による開会挨拶後、参加者を1チーム6~7名で編成し、10チームにて交流会が始まり、最初に実技により競技規則の講習会を2班に分け、柳沢審判部長と今泉副審判部長のもと、様々な事例を交えながら受講者に対する質疑応答等、有意義な講習会が行われました。次に距離の違う4つのサークルに点数を設け、ポアンテで合計得点を争う競技が行われた後、10チーム総当たりのトリプル戦(制限時間40分、得点は無制限)が始まり、昼食、おやつタイムをはさみ17時まで6試合を行い、初日の交流大会が終わりました。宿泊者はそれぞれの宿舎に入り休息、入浴後19時より井上理事長の挨拶そして乾杯のあと懇親夕食会が始まり、事務局より初日の競技のポアンテ得点と6試合の総得点の中間発表があり、各チーム明日に向けての意気込みを語りました。また、第27回日本ペタンク選手権大会県代表壮行会を行い、予選を勝ち抜いた男子3チーム、女子4チームに代表認定書が河部会長より授与され、各チーム代表者より大会に向けての力強い意気込みの挨拶があり、会場は激励の拍手で大いに盛り上がりました。夕食懇親会后、ビンゴゲームが始まり、発表の数字に一喜一憂しながらビンゴ者に次々と素晴らしい商品が当たり、和やかに多くの方と語り合える、とても楽しい懇親会になりました。また、散会后、多くのグループが深夜まで懇親を深めたそうです。2日目は8時30分より残りの試合を実施、13時より閉会式並びに表彰式を行い、上位チームには賞品が授与され、入賞を逃したチームにも参加賞が配布され全ての合宿交流会が終了し散会しました。このような企画運営をして頂いた事業部の皆様に深く感謝申し上げますと

共に、来年度も素晴らしい合宿が出来ることを期待しております。

(担当: 大山)

審判部のルール説明



開会式



埼玉県代表認定書授与



夕食懇親会の様子



交流会リーグ戦



合宿交流会 1位 ゾウチーム

坂戸市ペタンク講習会を開催

今回は、9月1日に行なわれた「坂戸市ペタンク講習会」の様子を紹介します。8月までは35度を上回る猛暑日が続きうんざりしていましたが、朝方久しぶりのお湿りもあり、曇りがちの天候でやや涼しい大気の中、坂戸市を中心に、近



隣のペタンクを愛好する皆さんを誘って、初級講習会を行ないました。指導部が、2ヶ月前から、どのように指導したら、初心者や初級者の年配の方々に、和やかな雰囲気、よりペタンクを楽しめるようにルールを身につけ、技術も身につけ、今後の練習に活かせるような練習方法を伝授できるか、知恵を絞って考えた方法で実施されました。



開会式には、理事長から『一定の技術とルールを身につけて頂くと、レクリエーションのペタンクをより楽しむことが



できる』旨の挨拶がありました。講師の井上まち子氏からは、『今日は、自己流で身に付いた技術は封印して、指導員のより正しいフォームを真似して、より高い実践的な技術を身につけてください。そのためにどんどん指導員に聞いてください』との説明があり、講習会は、準備体操から始まりました。井上講師の解説で、指導員が投球の模範演技をして、その後、参加者78名を15班に分け、各班で指導員が、ルーレット、ドゥミポルテ、ラッフルティール、

ダイレクトティールを指導する形式で行ないました。基本技術の練習をした後、成功球を1点と数える班対抗のゲームを行ない、1種類毎に成績の良い班からコートを移動することによって参加者の意欲は増し、時間の経過も忘れるほど、



あっという間に午前中の講習が終了しました。昼食休憩の後、簡単なルール/マナー違反を見つける模擬試合があり、違反を見つけた正解の人には賞品が出ました。その後、指導員が付きながら1ゲーム30分のトリプルでの試合を行い、日中は日も差し、暑さもありましたが、適度な風と日差しを遮る雲のお陰で、熱中症で倒れる方も出ず、予定どおり14時に無事終わることができました。閉会式では、山田氏から指導講評を戴いた後、参加者から受講の感想を戴く直前にかかなり強い雨が降り出してきたため、

早々に閉会式を終了しました。参加者は雨に追われての帰宅となりましたが、恐らく満足の行く講習会であったことと思います。後日送られてきた参加者の感想文を指導部員は、大変感動しながら読ませて頂きました。皆様の前向きで率直な感想を今後の指導の糧にすると共に、今回の講習会を実施して良かった、との充実感を頂きました。参加者の皆さん、有り難うございました。日々の練習に励んで、いつかどこかの大会で対戦しましょう！ 雨の中、後片付けをして頂いた指導部と地元坂戸市ベタンク協会の皆さん、有り難うございました。また、指導員として参加して頂いた初級指導員の皆さんもお疲れ様でした。皆さんの指導員としての力量も、今回の講習会で上がったものと思います。それぞれの支部協会で、この体験を活かして、日々、共に伸びる気持ちで指導に活かしてください。（担当：中村）



第6回さいたま市オープン大会を開催



天気は晴天で、秋の気配を感じさせる涼風が吹く、まさにベタンク日和そのもの下、埼玉県内各地から32チームが集い、『第5回さいたま市ベタンクオープン大会』が、9月9日(日)さいたま市大宮体育館併設ゲートボール場において、32チームの愛好者を迎えて開催されました。8時30分より開会式が行われ、来賓挨拶の後、準備体操、林審判長による



ルール説明、さいたま市ベタンク連盟会長の宮崎県議と、さいたま市長による始球式に続き、熱戦の火蓋が切られました。さいたま市では、市長自らが開会式に出席されて挨拶をし、スポーツを愛好する町づくりを推進しているとのこと、ベタンクを愛する者として大変有り難く感じました。4チーム1ブロックでの予選リーグを行い、各ブロック1位チームが決勝トーナメントに進出しました。順位は勝数、直接対決、得失点により決定し、昼食後、決勝トーナメント及び2位、3位、4位の各順位グループのトーナメント戦を行い、最多3試合を戦いました。1位グループによる決勝トーナメント戦の結果は、次の通りです：



優勝 上尾クラブC

吉田喜美子・佐藤恵美子・町田光彦



2位 川本

吉田茂子・清水葉子・清水恭子



3位 上尾クラブD

樋口紀典

瀬尾キヨ

増田善子



3位 川本B

柴田つね

宇野一郎

山田広幸

ここのテランは、長辺から見ると、かまぼこ方で、かなり速い。左右にも微妙に傾斜があり、硬そうに見えて、上から落ちるとぽっこり穴が空く柔らかさを持っている。ティールは20cm以内でないとうまく当たらず、それより長いと、「ぽっこーん」と跳ねてしまう。ラッフルティールでないとうまく当たらない。ポワンテ泣かせ、ティール泣かせのテランでした。しかしながら、テランの質を良く理解し、合った投球をした選手が、良い結果を出せていたと思います。決勝は、テ

ランの状況を味方に付けた上尾クラブCが、一方的に試合を支配していました。ペタンクは、ポワンテに始まり、ポワンテが肝心であることの良い例を見せて頂きました。さいたま市ペタンク連盟の皆さん、全ての参加チームに賞品をご用意頂き、有り難うございました。来年の大会も是非シソジュースをたくさん用意して、大会の名物にしましょう。
(担当:中村、宮崎)

第5回 黒田開場記念大会を開催

天候に恵まれた9月16日(日)、黒田ペタンククラブ主催による第5回黒田ペタンク場開場記念大会が開催されました。参加32チームを4ブロックの8チームに分け、リーグ戦で6試合を行い、各リーグ1位に賞が渡されました。リーグ戦の7戦目は、終了時間が遅くなることを考慮し、やらずにリーグ優勝を決めています。黒田のテランは、砂利、薄く砂が覆う土、砂の深い土、平らで速い土、硬く速い砂利、斜面で砂の多い土と、結構質の違うテランがあり、すべてにマッチして勝ち続けるというのは、なかなか難しい。6試合を行なって、全勝が出にくく、ポワンテの精度の高さが、テランに応じて要求される。そういう点で、テランに「おもしろさ」を感じる試合が出来ます。各ブロックの1位チームは次の皆さんです。おめでとうございます。(担当:中村)

城山B

泉 忠明
鈴木 静子
石川 太津男

大沼B

水戸部 忠平
大野 好子
柳澤 正子

武甲山

浅見 勝男
小久保 洋子
小久保 康之

飯能夢馬

恩田 忠(早いお帰りで、写らず残念!)
安藤 和子
梶田 美千代



この大会は、32チーム限定の大会です。次回参加希望の方は、早めに応募してください。結構人気が高く、きっと先着順になると思います。このほかに黒田ペタンククラブでは、32チーム限定での和気藹々の交流親睦大会を年間数試合開催しています。参加を希望される方は、黒田ペタンククラブの方にお尋ねください。

第6回加須市ペタンク交流会を開催

9月22日(土)、加須市運動公園に於いて、第6回の加須市ペタンク交流会が行なわれました。昨年まで7月中旬に行なわれていましたが、日本選手権の埼玉県予選と重なるため9月に移動しました。来年度もこの時期に行なわれる予定です。この交流会は、個人参加で、受付時の抽選によりトリプルのチームを決めます。当日にならないと誰と組むのか全く分かりません。この方法は、正に交流会に相応しい決め方だと思います。初心者の方も臆せず是非参加していただき、同じチームメイトのベテランの選手にいろんなことを教えて貰える楽しい交流会です。気に入った人は勿論、自分の所属するチームの人と組める訳でもなく、ペタンクを楽しむのにはとても良い交流会だと思います。上級者はチームプレーを目指し、初級者は上級者の高いレベルの技術を真似て、初心者はベテランのやり方を見習うようにして、良いチームワークで上位をねらいましょう。



今年度は、ジュニア強化も目標に掲げ、ジュニア参加者には、指導部の皆さんの協力を得て、チームメンバーを決めました。熱戦の末、今年の予選リーグ1位による決勝トーナメント入賞者は、以下のようになり、ジュニアの入った『こいのぼりグリーン』が決勝トーナメント3位に輝きました。(担当;中村)

優勝:なめこおろしうどん

第2位:玉子とじうどん



第3位:納豆うどん



第3位:こいのぼりグリーン



(一緒に戦った山名さんに、コメントを戴きました)
『ジュニアの天くんのポワンテが、相手チームを投げきりにする場面があり、コントロールの

上手さにビックリ!天くんを助けるどころか、天くんに助けられた1日でした。こういうジュニアが、どんどん育ってくれることを願っています』

第3回 埼玉選手会 in 黒田



9月29日(土)、深谷市・黒田ペタンク場で第3回選手会が行なわれました。予報では雨も心配されましたが、曇りがちの時たま夏の日差しを思い起こさせる良い天気で、風も爽やかで、正にペタンクにうってつけの天候でした。午前中は、スキルアップを行ないました。埼玉選手会のメンバーは、『より高いレベルで試合ができるようにスキルアップを目指しましょう』という井上まち子講師のもと、指導部のメンバーにも手伝ってもらい始めました。グループ分けの技能チェックは、参加者全員が、6m・9mにビュットを3回投げ、

次に6m・9mにポワンテを3球投げるビュットワークと、それに続くポワンテの技術を見て、グループ分けを行ないました。ルーレット、ドゥミポルテ、ポルテの順で「寄せ」の技術を見ました。試合では最初に「ビュットを投げる」ことから始めます。次に、「そのビュットに向かってポワンテ」をします。試合をコントロールし、ゲームに勝つためには、「チームの戦いやすい距離で、思ったところにビュットを投げ、そこにポワンテができなければならない」。その考え方のもとに、目標地点の30cm以内にビュットを投げて、入ったらメンバー全員が50cm以内に寄せる。それを6.5m、7.5m、8.5m、9.5mの距離で行ないました。ビュット投げは全員が成功しないと次のステージに進めない。成功したビュットに全員寄らないと次のステージに進めない。ビュット投げと初球のポワンテを組んでの精度練習をしたことがなかったので、誰もが苦戦をし、基本を疎かにしていたことを痛感しました。なかなかステージを完了出来ずに、時間がかかり、休憩時間が減ってしまったグループもありました。その後、日本選手権出場チームに激励を込めて試合を行ない、楽しみながらスキルアップを行ないました。・・・という事で第3回選手会のテーマは、「ビュットコントロールと初球ポワンテの精度アップ」でした。「自分のペタンクがどうも伸び悩んでいる」とお考えの皆さん、是非、入会して自分のスキルアップを行なってみてください。年会費は1000円です。原則的に、当日の参加費はありません。事務局は、山田広幸さんと稲垣政英さんです。次回の選手会は11月24日(土)坂戸市の高麗川ふるさと広場です。時間は午前時予定です。(担当;綾部)



審判部からのお知らせ

審判員ユニフォームを作成しました!

黒地で白と青の細いストライプの縦縞のポロシャツで、背中に朱で「ARBITRE」の文字をプリントしました。L,M,Sを各2枚、県で保有しています。各団体に貸し出しますので活用してください。連絡は審判部長柳澤までお願いします。

電話 048-577-3613 Eメール nao8730-oz@fork.ocn.ne.jp